

(32)

氏名(生年月日)	ハラ 原	ミ 美	スズ 鈴
本 籍			
学位の種類	博士(医学)		
学位授与の番号	乙第1196号		
学位授与の日付	平成3年7月19日		
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)		
学位論文題目	乾燥濾紙血液を用いた妊婦甲状腺機能異常のマススクリーニング—臨床編— 第1報:精査対象者の甲状腺機能と臨床経過について 第2報:児への影響		
論文審査委員	(主査) 教授 福山 幸夫 (副査) 教授 門間 和夫, 内山 竹彦		

論 文 内 容 の 要 旨

目的

甲状腺機能異常を伴った妊婦の早期発見, 管理治療により, 健康児出生率のより一層の向上を目指して, これら母子の甲状腺機能, 臨床経過の検討を行った。

対象および方法

1. 対象: 1980—1987の8年間に妊婦スクリーニングにより甲状腺機能異常所見が見出された妊婦262例およびその新生児。

2. 方法

1) 妊婦スクリーニング, 初診時の乾燥濾紙血液を用い, 東京都予防医学協会にて TSH, FT₄ を夫々 TSH コーニングおよびアマレックス FT₄ RIA キットにより測定した。

2) スクリーニング異常例は, 精検施設にて FT₃, マイクロゾーム抗体 (MCHA), サイロイド抗体 (TGHA), 抗 TSH レセプター抗体 (TRAb) 測定を加え, 評価した。

3) 新生児クレチン症マススクリーニング結果を用い, 母子のデータの照合を行った。

4) 妊婦分娩経過, 児の臨床症状に関する情報は一次検診施設(産科医)にアンケートを依頼, 収集した。

結果

1. 71,093名の妊婦スクリーニングで甲状腺機能異常262名(0.37%)が見出され, さらに精検により219例に各種甲状腺疾患の診断が確定, 特に即刻治療開始を必要とした例が100例あった。

2. 投薬治療により, 妊婦の MCHA, TGHA, TRAb 値はいずれの疾患でも妊娠経過に伴い減少した。

3. 甲状腺機能低下症の妊婦では, 切迫流産が有意に多くみられた。

4. Graves 病の母から甲状腺機能亢進症の児, 粘液水腫の母から一過性甲状腺機能低下症の児各1名が出生した。また甲状腺機能低下症の母から生れた児の血清 TSM 値は, その他の児のそれに比べ, 有意に高値であった。

5. 甲状腺機能異常のある妊婦から出生した児は, 機能正常な妊婦の児に比べ約650倍, また TRAb 陽性妊婦から生れた児は同陰性妊婦の児に比べ約30倍, 甲状腺機能異常を認める危険率が高かった。

考察

わが国で初めて体制化された著者らの妊婦甲状腺機能異常スクリーニングにより多数の甲状腺疾患が発見された。これら妊婦は, 治療により妊娠後期には甲状腺機能が正常化し, 機能低下症で切迫流産の頻度が高率であった以外, 臨床経過は順調であった。その一因として, 異常が早期に発見されたため, 正常妊娠時以上より注意深く管理されたことが考えられる。児への影響については, 健常児例の実数が少ないため確定的には結論できないが, 母体に何らかの甲状腺機能異常があると, 児の甲状腺機能にも異常を来す可能性が高いことが示唆された。

結語

本スクリーニングは甲状腺疾患合併妊婦の早期発見、管理治療に極めて有用であるばかりでなく、それらの妊婦から出生する児の機能異常の予防にも役立つと思われ、今後より広く施行されることが望まれる。

論文審査の要旨

本研究は、過去8年間、東京都で7万人強の妊婦を対象に甲状腺機能異常スクリーニングを実施し、0.3%の妊婦に異常者を発見、同定し、治療により、妊娠後期には甲状腺機能を正常化せしめ、一部を除き、妊娠経過を順調に推移せしめた。またそれら妊婦から出生した新生児の甲状腺機能との相関を検討し、母体の甲状腺異常が児の甲状腺機能に異常をもたらす可能性が高いことを示唆した。学術上価値ある研究である。

主論文公表誌

乾燥濾紙血液を用いた妊婦甲状腺機能異常のマススクリーニング—臨床編—

第1報：精査対象者の甲状腺機能と臨床経過について

第2報：児への影響

東京女子医科大学雑誌 第61巻 第2号
91-109頁（平成3年2月25日発行）

副論文公表誌

1) クレチン症スクリーニングにおける甲状腺機能の母子関係について。ホルモンと臨床 33(5)：

411-416(1985)神原美鈴，澤田和子，村田光範，岡田紀三男，松本 勝

2) 低身長を主訴に来院した左副腎腺腫の1例。ホルモンと臨床 34（増刊号）：312-316（1986）伊藤けい子，西野道夫，岩崎泰子，神原美鈴，田村まり子，他2名

3) 妊婦甲状腺機能異常マススクリーニングおよび母子関係について—過去5年間の経過報告—。東女医大誌 57（10）：1218-1223（1987）神原美鈴，澤田和子，村田光範